

No. 21

Japan Handball Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会

男子
 女子

試合番号 **遺愛女子-女37**

ハンドボール

年月日 2023 年 7 月 28 日 (金)
 大会名 令和5年度全国高等学校総合体育大会/ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A		昭和学院高等学校										神戸星城高等学校										B	
北海道		函館市					遺愛女子高等学校アリーナ					3回戦											
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加シフト	A	B									
	14	9		30	25																		
7m得点/総数		A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数											
		1/1		1	2	後3	1	2	後3	0/0													
		2941		2231			1939		1300														
No.	昭和学院					G	W	2'	D	DR	No.	神戸星城					G	W	2'	D	DR		
1	関口 華恋										2	黒木 優											
2	赤橋 愛未										3	鶴谷 真涼											
3	荒井 七香										4	瀬戸 心											
4	杉山 日菜					6					5 c	矢野 真尋					4						
5	吉田 心					2					6	村田 瑞季					4						
6	星野 友利										9	和田 夏由美					6						
7	加藤 真央					3		1			11	後藤 結香					3		1				
8	中村 真心					12					12	由井 美羽											
9	齋藤 史歩					1					17	中野 柚季					7	1	1				
10	倉持 愛泉					4					20	向 理緒											
12 c	堀内 雪羽										21	伊原 泉					1						
15	永井 桜莉					2		2			23	北 和香奈											
17	牧 琴音										24	中山 果凛											
18	アシュール 莉麻										30	豊島 愛海											
監督A	佐藤 奏吉										監督A	野路 良子											
役員B	田代 佳克										役員B	洪 徳顯											
役員C	町澤 凜花										役員C	野路 嗣治											

A **佐藤 奏吉** チーム役員A署名 **野路 良子** B

特記事項

レフエリ-	堀田 侑佑	櫻井 隆光	堀田 侑佑	堀田 侑佑
T.D	柴田 貴世	小箱 駿太	柴田 貴世	小箱 駿太
MO	平松 裕			平松 裕

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

No 22

令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第74回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書 **ハンドボール**

競技日	2023年7月28日(金)		会場	遺愛女子高等学校アリーナ	
種別	女子		回戦	3回戦	
チーム名			チーム名		
昭和学院高等学校(千葉)			神戸星城高等学校(兵庫)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
30	14	前半	9	25	
	16	後半	16		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

大同高校に競り勝ち勢いに乗る昨年の優勝校 昭和学院と福島西に大差で勝ち圧倒的な強さを見せつけた神戸星城の対戦。昭和学院スローオフで開始となったこの度の試合は、両校とも積極的にシュートを狙いに行くも決めきれない。この状況を打破したのは、神戸星城であった。⑨和田のサイドシュート2連発に続き、⑨和田のカットからの⑤矢野の速攻で立て続けに3連続得点を決める。昭和学院も⑩倉持がカットインで1点を返すもその後なかなかシュートを決めきれない。7分30秒神戸星城⑪がキーパーの顔面に当てたとして退場処分となる。このチャンスを流れを引き寄せたい昭和学院に対し、神戸星城はキーパーを下げて応戦。神戸星城③鶴谷の好セーブも飛び出し、必死に耐える神戸星城であったが、昭和学院の猛攻が始まる。神戸星城の無人となったゴールにボールを押し込み同点とすると、ついには⑧中村のロングシュートで勝ち越しに成功する。ここで踏ん張りたいたい神戸星城、19分39秒にタイムアウトを取り、7人攻撃で得点チャンスを作りに来る。しかし昭和学院⑫GK堀内の好セーブに加え、⑩倉持のカットイン、⑧中村の速攻などでリズムを掴んだ昭和学院は、一気に点差を引き離しにかかる。焦りが見え始めた神戸星城にミスが目立ち始め14-9の5点差で前半を折り返した。

このままリードを広げたい昭和学院と、何とか縮めたい神戸星城の後半、両校のキーパーが好セーブを連発し、点数が動かない。3分51秒に昭和学院⑬永井が退場も両校一步も譲らず、点の取り合いとなる。両校GKのセーブも冴え、試合展開に会場の応援もヒートアップする。21-14と7点が開いた13分に神戸星城がタイムアウトを申請し、立て直しをはかる。粘り強く⑭中野、⑥村田の攻撃で猛追を見せた神戸星城であったが、点差は縮められずタイムアウト。昨年覇者を前に涙を飲んだ。昨年優勝の賞録を見せつけた昭和学院が堂々準々決勝へと駒を進めた。

記入者

富森 あさ美